



市の花  
ムラサキ



西市辺  
裸祭り



古民家



江戸時代  
御代参街道の常夜灯

# 万景のまち市辺 いちのべ 散策マップ



平成24年3月吉日 発行

市辺地区まちづくり協議会  
歴史文化部会

〒527-0074 滋賀県東近江市市辺町2391  
市辺コミュニティセンター内  
TEL/FAX 050-5802-3392  
E-mail: info@ichinobe.com



## ① 万葉の森船岡山

あかねさす  
紫野行き  
標野行き  
野守は見ずや  
君が袖振る  
(額田王)

紫の  
にほへる妹を  
憎くあらば  
人妻ゆえに  
我恋ひぬやも  
(大海人皇子)

万葉の森船岡山の頂上には、「元暦校本万葉集」の額田王と大海人皇子（後の天武天皇）の歌碑がある。この歌は二人の恋情を表した歌と言われ、万葉を代表する相聞歌として大変有名である。船岡山からは蒲生野一帯を見下ろすことができ、万葉口マンを感じる情景が広がっている。また麓には、蒲生野に咲き乱れていたと言われる「紫草」など、万葉集に詠まれている植物約100種類が植栽されている万葉植物園もある。さらに春は桜・ツツジ、夏はアヤメ・蓮、秋は萩が大変美しい。



〔交通〕

近江鉄道 市辺駅下車  
徒歩5分



いちのべおしわのおうじ

## ② 市辺押磐皇子の御陵

円墳2基からなり、皇子と従人帳内佐伯部売輪の墓と伝えられている。5世紀の中頃、安康天皇が市辺押磐皇子に皇位を譲ろうとしたところ、



従兄弟の大泊瀬皇子（後の雄略天皇）が、自ら皇位に就こうとして、この地の狩りに市辺押磐皇子を誘い、猪と見誤ったふりをして皇子と従人を射殺してしまった。皇位継承が原因で起こったこの事件は「古事記」にも残されており、所在地の「市辺」も皇子に由来すると伝えられている。

〔交通〕

近江鉄道 市辺駅下車 徒歩20分

## ③ 布施公園

布施公園は、平安時代の「梁塵秘抄」に「近江におかしき歌枕、老曾轟蒲生野布施の溜」と歌われた“布施のため池”の一部を埋め立て、一帯を整備して造られた。

水と緑に触れ合い野鳥や植物などの自然観察ができる。また、芝生広場や遊具広場も備えた公園である。

冬には約1,000羽の水鳥がやってきて、水辺には野鳥を見ることができる「観知溜館」がある。

〔交通〕

近江鉄道 大学前駅下車 徒歩5分



# 神社めぐり

## ④ 東市辺 三所神社

主祭神 伊弉諾尊（いざなぎのみこと）・素戔鳴尊（すさのおのみこと）  
配祀神 菅原道真



天明7年(1787)三所大明神の神号を奉る。明治の初年三所神社と改称。社前に建武4年(1337)の石燈籠が一基ある。

## ⑤ 西市辺 若宮神社

主祭神 天照大神（あまてらすおおみかみ）

創祀年代不詳。永禄7年(1574)神祀官領より若宮大明神の称号を受ける。宮座講がある。



## ⑥ 糠塚 巽神社

主祭神 五十猛命（いいたけるのみこと/いそたけるのみこと）



創祀年代不詳。宝暦2年(1752)の棟札に当社毘沙門天外殿立宮とあり古くは毘沙門天を祀っていた。

## ⑦ 野口 阿賀神社

主祭神 滋賀県神社誌には天忍穗耳命（あめのおしほみのみこと）と書かれています。

創祀年代不詳。船岡山の麓に鎮座する。船岡山中腹には額田王（ぬかたのおおきみ）と大海人皇子（おおあまのみこ）の万葉歌碑がある。



## ⑧ 三津屋 神明社

主祭神 天照皇大神（あまてらすすめおおかみ）



創祀年代不詳。以前は神明宮と称したが、明治になり神明社と改称した。今から300余年前に既に宮座制度が確立していたことが判明している。

## ⑨ 布施神社

主祭神 瓊瓊杵尊（ににぎのみこと）・天兒屋根命（あめのこやねのみこと）  
配祀神 武甕雷命（たけみかづちのみこと）・齋主神（いわいぬしのかみ）  
比賣神（ひめがみ）・大山昨神（おおやまくいのかみ）  
中津島姫命（なかつしまひめのみこと）

創祀は貞応元年(1222)3月である。元布施山麓に鎮座したが後現在の地に祀った。境外接続の林中に古墳がある。布施荘司三郎源和は此地の豪族で佐々木の重臣であり、代々当社を崇敬したと言う。元は五社大明神と称したが明治9年に布施神社と改称された。本殿は三棟あり、三棟とも一間社流造りで、流造りとしては非常に小さな社殿であるといえるが、その造りは鎌倉期独特の美しさを示す。妻板から薄く彫出している板葺股（いたかえるまた）は鎌倉期の様式をよく表す珍しい手法である。国指定重要文化財



## ⑩ 蛇溝 長緒神社

主祭神 大山昨神（おおやまくいのかみ）

創祀年代不詳。延暦寺領のため、日吉上7社の一社十禅師を勧請して古くは十禅師権現と称したが、後現在の社名となる。



## ⑪ 長谷野神社

主祭神 彦火火出見尊（ひこほほでみのみこと）・国常立命（くにとこたちのみこと）  
大穴牟遲神（おほなむぢのかみ）・帯中津日子命（たらしなかつひのみこと）

この地は戦後の開拓地で、昭和47年、大津市四宮神社の分霊を祀った。



# お寺をたずねて

## 12 東市辺 大蓮寺



本尊 阿弥陀如来 浄土宗  
明德年間 (1390~1393) の草創

## 13 西市辺 法徳寺



寛永12年 (1635)  
当初天台宗玉誉浄泉と  
して創建、改宗して  
安土浄厳院末寺となる。  
浄土宗

## 14 糠塚 地福寺



650年前 文和年中に開山  
浄土宗

## 15 野口 浄念寺



本尊 阿弥陀如来 創建15世紀末 真宗大谷派

## 16 布施 福寿寺



現在の本堂は、昭和12年再建 浄土宗

## 17 蛇溝 本啓寺



応永9年 (1402) の建立 室町時代の聖徳太子像を安置する 真宗大谷派

## 18 蛇溝 福命寺



本尊 阿弥陀如来 天正19年に再建 浄土宗

# いわれのあるお堂

## 19 西市辺 薬師堂



西市辺の宮座行事と薬師堂裸まつりは、正月成人の日の前日に古式ゆかしく薬師堂で奉修され多くの参拝者で賑わう。県の無形文化財に指定されている。

## 20 蛇溝 願王山 長谷地藏大菩薩



御代参街道沿いにあり、木の本地蔵・関の地藏さんと一本の木からなり中の地藏さんとしても知られる。雨乞地藏、子安地藏、町内鎮護の地藏として信仰を集め、かつては縁日に草競馬等が開催された。火災に遭い現在のお堂は嘉永3年（1850）に再建された。

## 21 三津屋 太鼓堂と観音堂



明治初年、禅宗の「尼寺」として建立した。明治15年、観音堂と太鼓堂を併せて建立した。観音堂では、今も観音様の前で、毎月1回町民が御詠歌を唱えている。

# 万葉のまち市辺 散策マップ



## 22 布施山城跡



築城時期 15世紀末

標高 240.3m

城主は六角氏家臣の布施氏である。

1563年に起きた「観音寺騒動」の後に、布施氏は北近江の浅井氏と呼応して布施山城などで反乱を起こした。1568年布施氏同族の布施三河守は、織田信長の近江侵攻の際に、この城に籠城し、戦うが敗れて、布施城は廃城となった。

近江鉄道大学駅前下車徒歩15分で布施ため池周辺の山麓へ。山麓から城跡までは徒歩20分。

## 23 布施の溜



おうみのまひとみふね

延暦8年(789)に淡海真人三船は、造池使に充てられ「近江に往きて池を修造す」と記されている。その三船の手になる池こそ布施溜池に他ならない。

## 蛇砂川



蛇砂川は、永源寺を、起点として、東近江市、近江八幡市を流れる一級河川である。両岸は堤防で構築された天井川である。市辺地区では、蛇溝町、東市辺、糠塚町、野口町を流れている。市辺地区での長さは、約4.5キロメートルあり、普段は川底を綺麗な水が流れているが、大雨が降ると堤防一杯の泥水が流れる。堤防には四季折々いろいろな野草が観られる。夏には草藤が繁茂し、秋には芒や茅が風に揺れている。市辺橋付近や船岡山の近くでは、彼岸花の群生地が見られる。蛇溝橋から糠塚橋までは、堤防に沿って1.8キロの道があり、糠塚橋から野口の墓地までは、堤防の上を散策できる。又、阿賀神社からの眺めも格別である。

## 市辺の歴史を見て来た大きな樹

### 万葉の森船岡山 万葉植物園

船岡山の麓には万葉集に詠まれた約100種類の植物を歌碑とあわせて紹介した万葉植物園が整備されている。



### アメリカハナミズキ 三津屋 神明社

ハナミズキの木が珍しい時代に境内に植えられた樹。市内のハナミズキとしては古木。誰がどのような思いで植えたか知りたい樹。

### イブキ 西市辺

市の保護樹林に指定されている。庭木として見事に仕立てられ、何世代にもわたって家人により大切に守られてきたものである。樹高:8.5m 幹周:232cm 推定樹齢:220年 指定:平成10年

※ 樹高・幹周・樹齢は指定の時の数値です。



### ツクバネガシ 西市辺 若宮神社

若宮神社の参道にある大きくたくましい樹。春の芽吹きは美しいけれど、落葉は神社泣かせ。樹齢150~200年

### カイズカイブキ 東市辺 大蓮寺

幹がねじれて太く見事な古木。かつては子どもたちが木登りをして遊んだ樹です。上からは市辺駅のあたりを走る電車が見えました。



### クロマツ 蛇溝 本啓寺

傾いて登りやすく、この樹で遊んだ大人達に、昔を懐かしく感じさせる蛇溝町で一番古いと思われる松の樹。

### クロガネモチ 布施 布施公園

昔の布施の溜の堤防に1本取り残された木。どちらから見ても傘のようで、かつては魚釣りに来て、その下で話を咲かせた樹。





# 市辺の航空写真





## 「市辺」のあらまし

当地は、「市辺押盤皇子の御陵」がここにあったことから、明治7年に東古保志塚村・西古保志塚村を、「市辺村」と名付けられた。

明治22年、全国的に町村合併が進められ、従来からあった、市辺村、糠塚村、野口村、三津屋村、蛇溝村、布施村が合併し、「市辺村」が発足した。市辺村の中心に村役場や村立「市辺小学校」が開設された。

昭和の大合併により昭和29年8月15日旧八日市町・市辺村・平田村・玉緒村・御園村・建部村が合併して八日市市となり、市辺村は、市辺地区となった。

役場跡は公民館となり現在コミュニティセンターと改名して自治会連合会をはじめ各種団体の拠点となる。

市辺小学校跡地は市辺幼稚園やグラウンドとなり、現在に至っている。

戦後まもなく、蛇溝地先に各地から入植され、長谷野・布引の開拓が進んだ。高度成長期に入り、工場誘致に伴い柏が誕生した。その後滋賀文化短期大学（現・びわこ学院大学）が開校し、ホープタウン1丁目（布引台1丁目）・布引台2丁目等の自治会が加入し、現在は14自治会で活動している。万葉の歴史と文化に育まれた地区「市辺」は、新しい時代の故郷づくりに邁進している。



## 散策モデルコース



### ● 一押しメジャーコース

(5.5km 2時間 480キロカロリー)

近江鉄道市辺駅 ⇨ 万葉の森船岡山 ⇨  
万葉の郷ぬかづか ⇨ 薬師堂 ⇨  
市辺押盤皇子御陵 ⇨ 布施公園 ⇨  
布施神社 ⇨ 近江鉄道大学前駅

### ● 神社・お寺・お堂めぐりコース

(10.5km 3時間 720キロカロリー)

糠塚 巽神社 ⇨ 地福寺 ⇨  
野口 阿賀神社 ⇨ 浄念寺 ⇨  
三津屋 太鼓堂 ⇨ 神明社 ⇨  
西市辺 薬師堂・法徳寺 ⇨ 若宮神社  
⇨ 東市辺 大蓮寺 ⇨ 三所神社 ⇨  
蛇溝 長緒神社 ⇨ 福命寺 ⇨ 本啓寺  
⇨ 布施 布施神社 ⇨ 福寿寺 ⇨  
蛇溝 長谷地蔵 ⇨ 長谷野 長谷野神社

### ● 自然観察コース

(6.5km 2時間 480キロカロリー)

万葉の森船岡山 万葉植物園 ⇨  
アメリカハナミズキ（三津屋 神明社）  
⇨ イブキ（西市辺） ⇨  
ツクバネガシ（西市辺 若宮神社） ⇨  
カイツカイブキ（東市辺 大蓮寺） ⇨  
クロマツ（蛇溝 本啓寺） ⇨  
クロガネモチ（布施 布施公園）・  
布施池（水辺の植物・冬には野鳥観察）

※ 消費カロリーは、体重60kgの人が時速6kmでウォーキングした場合で計算しています。